

DCMU 水和剤 ダイロンゾル	取扱メーカー： 北興 原体メーカー： 保土谷
成分： DCMU〔尿素系 PRTR・1種〕……………50.0%	性状： 白色水和性粘稠懸濁液体 毒性： 普通物 消除法： —

【品目特性】……………

- 雑草発生前～雑草発生始期の処理により、一年生のイネ科雑草及び広葉雑草に高い効果を示す。
- ゾル化のため、水和剤と比較して薬剤の調製が容易である。

【使用上のポイント】……………

- 所定量の水で希釈し、時々攪拌しながら均一に散布する。
- 本剤の散布適期は雑草発生前から生育期（草丈15cm以下）であり、生育の進んだ雑草には効果が劣るので、時期を失しないように散布する。

〈だいず〉

- は種時には十分な種深度を確保し、浅植えとしないように注意する。
- 畦間・株間処理に使用する場合、専用ノズルを使用するとともに、噴口はできるだけ低くして本葉にかからないようにする。
- は種後出芽前に薬剤散布をする場合、出芽直前に降雨が予想される場合には散布しない。

〈あずき〉

- は種時には土壌を細かく砕いて、均一厚目に十分な覆土を行うとともに、は種深度を確保し、浅植えとしないように注意する。
- 畦間処理に使用する場合、専用ノズルを使用して作物にかからないようにする。
- は種後出芽前に薬剤散布をする場合、出芽直前に降雨が予想される場合には散布しない。

〈さとうきび、飼料用さとうきび〉

- 新植後、分けつが始まる頃には作物にかからないように注意する。

〈やまのいも〉

- 畦間処理に使用する場合、専用ノズルを使用し、作物にかからないようにする。

〈水田畦畔〉

- 雑草防除を目的として使用する場合、雑草が枯れ残る場合もあるが、抑草効果は持続するので、追加散布や繰り返し散布はしない。

〈食用亜麻、あま〉

- 生育の進んだ雑草には効果が劣ることがあるので、中耕などの機械除草との併用により効果の安定を図る。

〈うこん〉

- 植付時には土壌を細かく砕いて均一厚めに十分な覆土を行うとともに、植付深度を確保し、浅植えとならないように注意する。
- 畦間処理に使用する場合、専用ノズルを使用し、作物にかからないようにする。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 激しい降雨が予想される場合は使用をさける。
- 砂質で水はけの良い場所や雨の多い時期には、薬剤が地中深く浸透して有用植物に薬害が生じるおそれがあるので注意する。
- 樹木等有用植物の根が分布していると思われる所では使用をさける。

【安全対策上の注意】……………

- 公園、堤とう等で使用する場合、特に以下のことに注意する。
 - 水源池、養殖池等に飛散、流入しないよう十分に注意する。
 - 散布薬液の飛散によって自動車やカートタンの塗装等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分注意する。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 共通注意事項6．街路・公園・堤とう等で使用

する場合の注意事項を参照。

●藻類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。



【適用と使用法】

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	DCMUを含む農薬の総使用回数	
				薬量	希釈水量				
かんきつぶどう	—	一年生雑草	雑草発生前 但し、収穫60日前まで	200～ 400㎖	100ℓ	1回	土壌散布	1回	
もも			雑草発生前 但し、収穫90日前まで						
パイナップル			植付直後 (雑草発生前)	150～ 200㎖	100～ 200ℓ				
ばれいしょ			植付後萌芽前 (雑草発生前～始期)	100～ 200㎖	100ℓ		雑草茎葉散布又は全面土壌散布	2回以内 (萌芽前は1回以内、生育期は1回以内)	
やまのいも			植付後萌芽前 (雑草発生前～始期 (イネ科雑草3葉期まで))						
			生育期(畦間処理: 雑草生育期) 但し、収穫60日前まで						
だいず			は種後出芽前 (雑草発生前)	150～ 200㎖	100ℓ		土壌散布	2回以内 (出芽前は1回以内、生育期は1回以内)	
			は種後出芽前 (雑草発生前始期)	100～ 200㎖			雑草茎葉散布又は全面土壌散布		
			生育期(畦間・株間処理: 本葉5葉期以降、雑草生育期) 但し、収穫30日前まで				土壌散布		
あずき			は種後出芽前 (雑草発生前)	150～ 200㎖	100～ 200㎖		雑草茎葉散布又は全面土壌散布		
			生育期(畦間処理: 雑草生育期) 但し、収穫30日前まで						
食用亜麻			生育期 (8葉展開期以降) (雑草発生前始期) 但し、収穫60日前まで	100㎖	2回以内	全面土壌散布、雑草茎葉散布又は全面散布	2回以内		
			生育期 (8葉展開期以降) (雑草発生前始期)						
あま									

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	DCMUを含む農薬の総使用回数	
				薬量	希釈水量				
う　　こん		一年生雑草	植付後萌芽前 (雑草発生始期) 生育期(畦間処理: 雑草発生始期) 但し、収穫75日 前まで	100～ 200 ml	100 ℓ	1 回	全面土壌 散布	2 回以内 (萌芽前は1 回 以内、生育期 は1 回以内)	
さとうきび (春植又は 夏植)	－	一年生雑草、 多年生広葉 雑草	植付後萌芽前 雑草発生前	160～ 240 ml	100～ 200 ℓ		雑草茎葉散 布又は全面 土壌散布		
			植付後萌芽前 雑草発生始期	100～ 150 ml			土壌散布		
			生育期 (雑草生育期) 但し、収穫60日 前まで				雑草茎葉散 布又は全面 土壌散布		
さとうきび (株　出　)			萌芽前 (雑草発生前)	160～ 200 ml	100 ℓ		土壌散布		
			萌芽前 (雑草発生始期)	100～ 150 ml			雑草茎葉散 布又は全面 土壌散布		
飼料用さとうきび (春植又は 夏植)			生育期 (雑草生育期) 但し、収穫60日 前まで		100～ 200 ℓ		雑草茎葉散 布又は全面 土壌散布		
		飼料用さとうきび (株出)	植付後萌芽前 雑草発生前	160～ 240 ml	100 ℓ		土壌散布		
			植付後萌芽前 雑草発生始期	100～ 150 ml			雑草茎葉散 布又は全面 土壌散布		
生育期(雑草生育 期) 但し、収穫 75 日前まで			100～ 240 ml	100～ 200 ℓ	雑草茎葉散 布又は全面 土壌散布				
萌芽前 (雑草発生前)			160～ 200 ml	100 ℓ			土壌散布		
萌芽前 (雑草発生始期)			100～ 150 ml				雑草茎葉散 布又は全面 土壌散布		
生育期 (雑草生育期) 但し、収穫75日 前まで			100～ 240 ml	100～ 200 ℓ					
水　　稲 (水田畦畔)		水田 畦畔	一年生雑草	雑草発生前～ 生育初期 但し、収穫30日 前まで	200～ 250 ml		100 ℓ	3 回 以内	植栽地を除 く樹木等の 周辺地に雑 草茎葉散布 又は全面土 壌散布
樹　木　等		公園、 庭園、 堤とう、 駐車場、 道路、 運動場、 宅地、 のり面、 鉄道等	コケ類	コケ類生育期	500～ 1000 ml	100～ 200 ℓ			
	一年生雑草		雑草発生前～ 生育初期	1000～ 2000 ml	100 ℓ				